
インターネット先進国アメリカのITレポート

「米国インターネット業界マーケティングレポート」のご紹介



Treasure Net, Inc. Seattle WA.

今なら最新号無料プレゼント

Web2.0先進国アメリカのIT市場動向をウォッチする必要性

アメリカは、世界的なIT企業を多数輩出している「IT先進国」

世界的なウェブサービスの検索サイト「Google」やポータルサイト「Yahoo!」、常に世界を驚かせる新しい技術やサービスを提供し続けている「Apple」や「Microsoft」。これらのIT企業の本社は、全てアメリカにあります。

⇒アメリカは、世界的なIT企業を多数輩出している「IT先進国」であり、これらの企業の動向をチェックすることは、日本企業のビジネスにおいても非常に重要です。



アメリカは、新しい技術やwebサービスを生み出している「web2.0先進国」

Googleが16億5000万ドルで買収したユーザー投稿型動画配信サイトの「You Tube」、ユーザーが作るインターネット上の百科辞典「Wikipedia」、1億2,000万人以上が利用しているSNSサイト「My Space」、2,500万人以上が利用しているSNSサイト「bebo」、そして日本中が注目しているユーザー参加型3D仮想空間「Second Life」といった、今注目のサービスの多くはweb2.0先進国アメリカ発祥のサービスです。

⇒アメリカは、新しい技術やwebサービスを生み出している「web2.0先進国」であり、このようなアメリカの新しい技術やwebサービスをチェックすることは、日本におけるサービス作りにおいても非常に重要です。



弊社「米国インターネット業界マーケティングレポート」の特徴

弊社マーケティングレポートの特徴

①今アメリカで実際に流行っているサイトをご紹介します。

アメリカのシアトルに常駐している弊社本社スタッフが、ワシントン大学などの現地学生ネットワークも活用して、流行に敏感なアメリカの若者たちからよせられる生の声を元にし情報を収集しています。また、アメリカに本社を持つ地の利を生かし、収集した精度の高い情報をマーケティングレポートへ反映しています。

②1か月分のニュースをサマリー。

毎日のニュースを全てウォッチしている時間がない方のために、IT業界に精通した英語も日本語も堪能なスタッフが、主な米国インターネット業界の1か月分のニュースをサマリーして簡潔に読みやすいかたちでまとめています。コンテンツプロバイダー、広告代理店、システム開発、コンサルティング等のIT業界に関係する方々が押えているべき情報をお届けいたします。

③テーマ別のトピックをレポート。

アメリカインターネット業界に精通したスタッフが、アメリカや日本で話題になっているテーマやトピックスなどの特集レポートなどをお届けします。

■サイト調査フロー

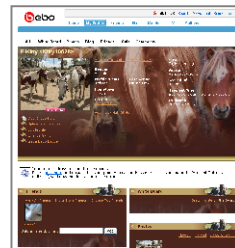
①シアトルに常駐している弊社の本社スタッフが、今、アメリカの若者が注目しているサイトをヒアリング



今、私達の間では
bebo
が流行っていますよ。



②IT業界に精通した英語も日本語も堪能な弊社スタッフがアメリカの注目サイトを調査・レポート執筆



③日本のIT業界に精通した弊社スタッフが、日本企業の観点からマーケティングレポートをチェック



なるほど！



アメリカSNSサイト
bebo



類似サービスを比較

弊社「米国インターネット業界マーケティングレポート」の内容



弊社「米国インターネット業界マーケティングレポート」のご紹介

Web2.0先進国であるアメリカのIT市場で、今、注目されているIT企業やwebサービスなどをご紹介します。世界的なIT企業である「Google」や「Yahoo!」、「Apple」や「Microsoft」といったアメリカを代表する企業の動向に加え、今、アメリカで話題になっている新しいwebサービスの情報についても、ご紹介致します。【月1回発行】



① 今月のアメリカIT市場の注目トピックスを特集記事でご紹介。

今、アメリカIT市場で話題になっている注目のサービスやトピックスを毎月一つ取り上げ、特集記事としてご紹介致します。YouTubeに代表される動画サービス、MyspaceなどのSNS市場など何かと話題の絶えないアメリカ市場のトピックスをピックアップしてご紹介致します。



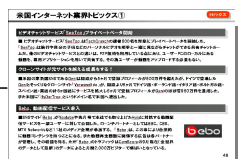
② 世界的なアメリカインターネットサービス事業者の動向をご紹介。

更なる進化を遂げる「Google」や「Yahoo!」、新しいデバイスやサービスを提供し続ける「Apple」や「Microsoft」は、アメリカを代表する世界的なIT企業です。主にこの4社の毎月の動向をサマリー形式でお届け致します。とインターネット業界の注目のニュース



③ アメリカSNS市場の動向をご紹介。

ユーザ数1億人のSNSサイト「Myspace」や、それに対抗する「Facebook」などの大手SNSサイトや、非常に個性的なニッチ系SNSサイトなど、ますます活発になるアメリカSNS市場の毎月の動向をサマリー形式でお届け致します。



④ インターネット業界の気になる話題をご紹介。

話題には事欠かないアメリカインターネット業界で特に注目を集めた話題や、インターネット業界の動向を毎月サマリー形式でお届け致します。



⑤ 今、アメリカで話題のwebサービスに関する情報をご紹介します。

日本でも話題の「You Tube」や「Second Life」といったweb2.0サービスは、アメリカが発祥のサービスです。このように将来、日本や全世界で話題になりそうなアメリカのweb2.0サービスを実際に使って、サービス内容を調査し、レポートにまとめてお届け致します。

米国インターネット業界マーケティングレポート過去の特集

①Android特集技術概要編

世界中で注目Google主導の携帯電話向け統合プラットフォーム。

2007年11月に発表され、Googleが主導する団体「Open Handset Alliance」により開発がすすめられる携帯電話向け統合プラットフォーム「Android」、日本からも大手携帯電話通信事業者が参加し今後の携帯電話市場に革命を起こす可能性を秘めたプラットフォームです。技術的な概要や詳細を特集。

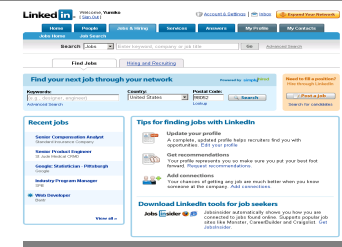


▲Android搭載端末プロトタイプ

②米国SNS市場の最新動向

「MySpace」、「Facebook」など大手SNSサイトの今。

最大手MySpaceとそれに続くFacebookの動向や、Googleが発表したSNS用共通API群OpenSocialとFacebookのAPI群であるFacebookAppsなど大手SNSサイトの動向以外にも、SNSベンチャーが運営するニッチSNSについてなどを総力特集。SNS先進国アメリカの今を特集。

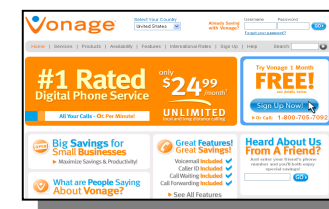


▲LinkedIn

③競争が激化する米国消費者向けVoIP市場

独立系ベンチャー企業、大手ケーブル会社、電話会社などがひしめく米国VoIP市場。

独立系消費者向けVoIP事業者では、訴訟問題に悩むVonage、ビジネス継続に失敗したSunRocketなどが2007年困難な局面を向えた。そうした中、トリプルプレイ戦略で確実にVoIP顧客を伸ばしているのはケーブルテレビ会社や光ファイバーで攻勢をかける電話会社など、米国VoIP市場の現状を特集。



▲Vonage

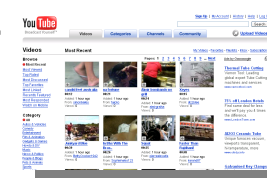
アメリカのIT市場における注目のトピックス

①Google、Yahoo!、Microsoft

Google、Yahoo!、Microsoftの争い。

Googleが一步リードしている検索サービスはもちろんのこと、最近では動画サービスや携帯電話向けサービス、Blogサービス、Office関連、ゲーム内広告市場まで、あらゆる所でGoogle、Yahoo!、Microsoftの3社は主導権を握ろうと競争を続けています。今、最も注目度の高い動画サービスでは、GoogleのYouTube買収や、Microsoftの動画共有サービスsoapboxのZune対応、Yahoo!のイスラエルに拠点をおくMetacafeの買収の噂など今後も目が離せません。

▼YouTube



▼Soapbox



②「iPhone」、「Windows Mobile」、「Android」

「iPhone」、「Windows Mobile」、「Android」など近年話題の多いアメリカの携帯電話。

i-mode、ezweb、Yahoo!keiなど携帯電話のインターネットサービスが盛んな日本と比べて、あまり携帯電話のコンテンツサービスが普及していないアメリカですが、最近では「iPhone」や「Windows Mobile」または「Android」など注目の話題が多く、日本からも注目が集まっています。またYahoo!やGoogleなども携帯電話用コンテンツにも力を入れており今後の動向が注目されています。

▼タッチスクリーン採用の「iPhone」



▼「Window Mobile6」搭載



③Web2.0

YouTube、Second LifeなどのWeb2.0サービス。

YouTube、Second Life、Flicker、del.cio.us、digg、Technoratiなど上げればきりがなほど多くの新しいWebサービスがアメリカから生まれてきています。YouTubeはいうまでもありませんが、SecondLifeは企業などを巻き込んで3Dバーチャルワールドの世界を構築しています。このような新しい概念のサービスが数多く生まれてくるアメリカから学べることは多くあります。

▼SecondLife



主な配布先業種

日本国内

- インターネットサービス(PC / モバイル含む)
- 通信事業者(携帯電話)
- 決済代行
- ソフトウェア開発・販売

- 広告代理店・メディアレップ
- 大学
- システム開発・ソリューション
- ゲーム・エンターテインメント

- 通信事業者(電話回線)
- コンサルティング
- マスメディア

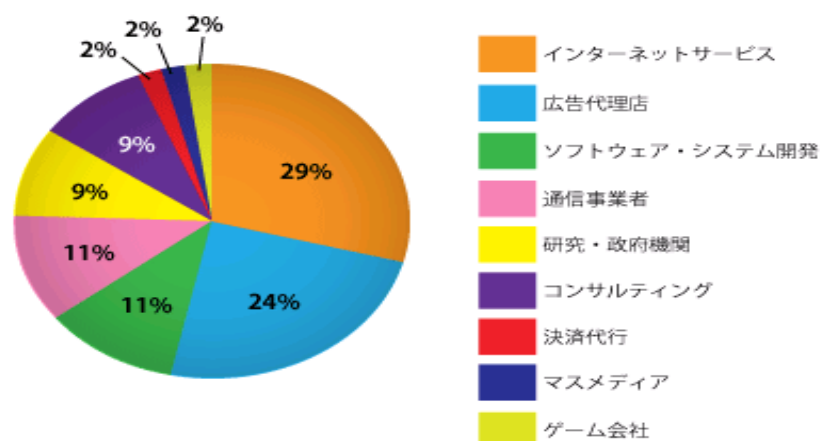
海外

- インターネットサービス(PC/モバイル)
- コンサルティング

- システム開発・ソリューション
- 通信事業者(携帯電話)

- 政府機関・公共団体

配布先業種別割合



PC・モバイル問わず、インターネットサービスを提供しているコンテンツプロバイダーなどのインターネットメディア関係以外にも、システム開発や、コンサルティング、広告代理店などインターネットサービス周辺産業の法人様に、多くご購入いただいております。

※主な配布先には、大学・研究機関、その他一部無償提供先も含まれます。

「米国インターネット業界マーケティングレポート」製作メンバーのご紹介

【「米国インターネット業界マーケティングレポート」のプロデューサー】



花房 寛 (Hiro Hanafusa)【米国法人トレジャーネット株式会社 代表取締役 兼CEO】

商社系 IT企業でコンシューマ向けインターネットサイトや、着メロサイトや、各種携帯電話人気サイトを多数プロデュース。2004年6月に同社退職後、米国 ワシントン大学に留学。2005年 2月同大学留学中に ITベンチャー企業トレジャーネット株式会社(本社:シアトル)を設立。同社代表取締役社長 兼 CEOに就任。今までにプロデュースしたサイトは、キャリアサイト、着メロサイト、ニュースサイトなどを中心に、PC-WEB、携帯WEBを含め、約30サイト以上と多岐に渡り、着メロサイトでは3キャリアで600万人以上、ニュースサイトでも600万人以上のサイトのプロデュース経験を持つ。現在は米国 ITコンサルタント企業の経営者として、世界各国のIT、通信業界事情に精通。執筆ブログ「**米国IT企業社長ブログ**」は、アメーバブログ(サイバーエージェント運営)の人気サイトで、2006年7月時点でのランキングは、約120万人中1543位、ジャンル別では最高5位の実績。また**日本ブログ大賞2006ではビジネス部門にノミネートされ第2位にランクイン**。講演実績多数。業界内での人脈も広い。現在、徳島大学大学院 先端技術教育部 博士後期課程にて、人工知能を利用したブログの日本語意味理解エンジンの研究も行う。



<http://ameblo.jp/hiro164/>

【「米国インターネット業界マーケティングレポート」のディレクター】



ロバート・P・スティガー (Robert P Steger)

1997 から 1999 まで米モトローラに勤務。携帯電話端末の設計などを手がける。過去に多数の Webデザインやシステム構築などの経験を持ちWebシステム関係のエキスパート。現在 イリノイ州立南イリノイ大学 大学院にて言語学の研究も行う。日本在住経験あり。カーボンデール在住。MBA。

「米国インターネット業界マーケティングレポート」のサンプルご請求

【サンプルについて】

法人を対象に、有料にてご提供させていただいている米国インターネット業界マーケティングレポートの最新号を初回に限り、サンプルとしてプレゼントさせていただきます。

【サンプルご請求方法】

- ① 下記URLの、米国インターネット業界マーケティングレポートお申し込みページに接続いただき、フォームに必要事項を入力し「以上の内容でお問い合わせ」ボタンをクリックしてください。

URL: <http://tnetpress.com/slUsa/index.cgi>

- ② もしくは、下記メールアドレスに**お名前**、**メールアドレス**、**お電話番号**、**会社名**と本文に「**米国版希望**」とご入力いただき、送信してください。

Mail : support@tnetpress.com

※企業名が不明瞭もしくは、弊社の判断によりサンプルのご提供をお断りさせていただく場合がございます。
あらかじめご了承ください。

※「米国インターネット業界マーケティングレポート」に関する各種お問い合わせはこちらまでお願い致します



米国法人トレジャーネット株式会社 (TreasureNet, Inc.) 日本支店

メディアリサーチ部 担当: 松坂(マツザカ)

・E-mail : support@tnetpress.com / TEL : 03-5789-4232 / FAX: 03-5421-6539

